

市報 やまぐち

2002 12/1 NO.1329

DECEMBER

Communication Paper Yamaguchi

CONTENTS 主な内容

中核都市づくり・市町村合併
みんなで支える思いやりのところ
山口市環境基本計画進行状況



特集 中核都市づくり・市町村合併

市民アンケート「合併を進めるべき」76パーセント、 2市4町で今年度中の法定協設置に向け準備

市では、「活力あふれる県都山口」に向け、中核都市づくりを進めるため、2市4町（山口市、防府市、徳地町、秋穂町、小郡町、阿知須町）での合併を検討しています。本号では、市民のみなさんの中核都市づくり・市町村合併に対する意識の把握と関心を高めることを目的に行った「市民アンケート調査」、並びに、市町村合併を主要テーマに、市民との対話を市内16地区で行った「リレーミーティング／対話」の結果について報告します。

合併の枠組み「2市4町」は、最多の44パーセント

市民アンケートの結果について（左表）、県都にふさわしい中核都市が必要と思うかという問いについては、82・9パーセントがその必要性を感じています。（グラフ1）また、県央2市4町で合併の協議が行われていることを知っているかとの問いには、88・5パーセントが「知っている」と回答しています。（グラフ2）

次に、合併については、「積極的に進めるべき」40・0パーセント、「進めるべき」36・6パーセントで、合併を進めるべきであると考えている人は、76・6パーセントになります。（グラフ3）

県央部の合併の枠組みについて

は、「2市4町」が44・0パーセントで最も多く、次に「2市2町（山口市、防府市、秋穂町、小郡町）」17・6パーセント、「1市1町（山口市、小郡町）」15・8パーセントと続いています。（グラフ4）

県都としての将来イメージについては、「教育文化都市」1032人、「福祉都市」571人、「観光都市」511人が上位を占めています。（グラフ5）

1月6日、2市4町で法定合併協議会準備組織設置へ

11月11日、第3回県央部合併調査研究会（会長は山口市長）が開催されました。この度の研究会では、県央部の2市4町の枠組みで、来年1月6日に法定合併協議会に

向けた準備組織を設置することで合意しました。また、来年3月までの早い時期に法定合併協議会を設置することをあらためて確認しました。

（二口メモ）

県央部合併調査研究会は、2市4町の首長・議長、計12名によって構成され、2市4町での合併について調査研究することを目的に8月26日に設置されています。

リレーミーティング、市内16地区約1000人が参加

9月30日仁保地区で始まった「まちづくりリレーミーティング／対話」は、11月8日陶地区を最後にリレーを終えました。約1000人の方に参加いただき、「中核都



▲「まちづくりリレーミーティング／対話」名田島地区（11月1日）

市づくり・市町村合併」、「地区の課題」などについて、有意義な対話を行うことができました。

リレーミーティングで行ったアンケート調査でも、市民アンケートと同様に、約77パーセントの参加者が市町村合併に対し前向きな回答をしています。

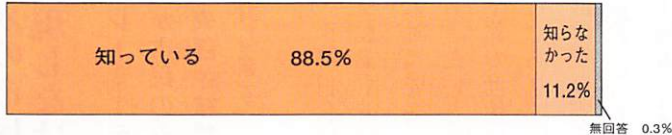
リレーミーティングで行われた「中核都市づくり・市町村合併」に関する質疑について紹介します。

市民アンケート・結果

■県央部に、県都にふさわしい中核都市が必要だと思いますか（グラフ1）



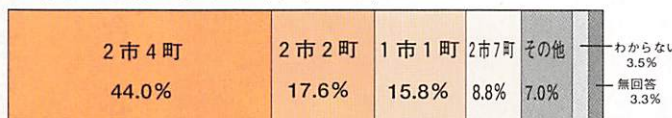
■現在、県央部2市4町で合併の協議が行われていますが知っていますか（グラフ2）



■合併についてどう思いますか（グラフ3）



■県央部の合併の枠組み（範囲）として、どれがふさわしいと思いますか（グラフ4）



※合併について「積極的に進めるべき」「進めるべき」と回答した1295人からの回答

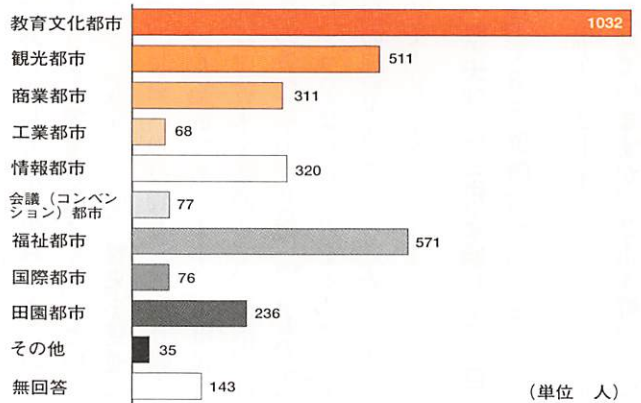
※2市4町（山口市、防府市、徳地町、秋穂町、小郡町、阿知須町）

※2市2町（山口市、防府市、秋穂町、小郡町）

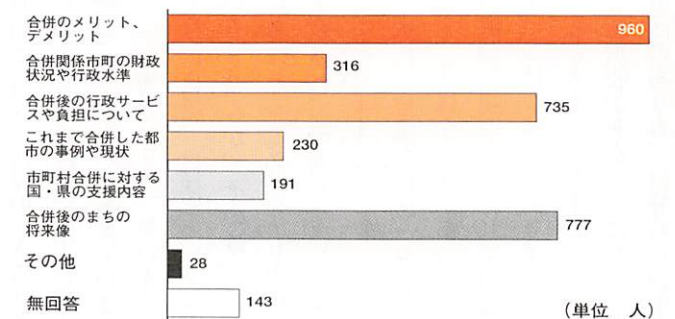
※1市1町（山口市、小郡町）

※2市7町（山口市、防府市、徳地町、秋穂町、小郡町、阿知須町、美東町、秋芳町、阿東町）

■県都にふさわしい中核都市として、どのような将来イメージが望ましいと思いますか。2つまで（グラフ5）



■今後、「中核都市づくり・市町村合併」を考える上で、どのような情報提供が必要だと思いますか。2つまで（グラフ6）



※今回の市民アンケート（簡易集計）は、調査対象4,465通のうち、1,690通を回収し、回収率は37.8%です。

Q1 市民との対話をしっかりと
して合併を進めるべきである。

A 市民の皆さんとの対話は重要なことで、今回のリレーミーティングをはじめ、アンケートやファックス等により皆さんのご意見を伺っているところです。対話はこれで終わりではなく、今後も引き続き情報提供に努め、対話をしていきたいと考えています。

Q2 2市4町のなかで山口市
はどんな役割を果たすかをよく
考えて進めるべきである。

A 山口市は行政、文化、教育の中心であるとともに農業が盛んであるという特色を持った地域であり、合併後も重要な役割を果たすものと考えています。合併をすることによって他の地域資源との有機的な連携を図りながら、すばらしいまちづくりを行いたい。

Q3 新市建設計画の構想を具
体的に説明してほしい。

A 新市建設計画については、法定合併協議会のなかで関係市町の代表の協議によって作成されることとなりますので、現時点では基本的な考え方を示しています。今後はみなさんのご意見を受けながら、生活満足度の高いモデル都市、まちづくりをして

まいりたいと考えています。

Q4 雇用が拡大するように、
働く場所の確保をしてほしい。

A 合併を通じ、中核都市を形成することによって、都市のイメージアップが図られ、企業誘致、雇用の拡大につながっていくと考えています。また、2市4町の持つそれぞれの地域特性や資源を有機的に結びつけることによって、地域の活性化を図ることができるとともに新たな可能性が広がっていくものと考えています。

Q5 出張所が廃止されること
のないようにしてほしい。

A 今後のまちのあり方として、地域コミュニティがしっかりとっていることは非常に重要なことであり、出張所はその拠点施設としての機能を持つものとして、廃止することは考えていません。

Q6 サービスが低下しないよ
う、将来にわたって現行水準が
確保されるようにしてほしい。

A 今のままでは、現行のサービスを現行の負担で維持することは困難になると思われます。したがって、このサービスを維持または充実させるために合併は必要と考えています。

「合併は、将来の市民の幸せ、元気なまちであり続けるために実現しなければならない」

「まちづくりリレーミーティング」で合志市長が市民のみなさんに説明した県央部中核都市づくりの思いを紹介します。

山口市長 合志 栄一

中核都市づくり・市町村合併を進めるのは、何よりもまず市民のみなさんの幸せのためであるということを強調しておきたいと思っています。私たちの子や孫の世代においても、元気なまちであり続けるために、市町村合併はぜひ実現しなければならぬと考えています。

市が取り組みます施策には2通りありまして、一つは現在の時点におきまして市民のみなさんのさまざまな要望にこたえていくということ、もう一つは、将来を見通して、将来への投資として取り組んでいく施策であります。市町村合併は、将来を見通して、政治、行政の責任にある立場にいるものが、ビジョンなり考え方を示して、市民の理解を得ながら進めていくものであると考えています。

「県央部の合併を通して『自活できる健康な地域』を」

現在、2市4町での合併が検討されていますが、2市4町で一つ



のまちを形成していくことになること、すばらしいモデル的な都市「21世紀の西の京やまぐち」を実現

現できると考えています。私としては、多くの人に共通の目標として共有できる、まちの目指す方向として、「自活できる健康な地域」としての県央部中核都市を実現していきたいと考えています。

「自活できる」ということは、完全に自給、自活ということにはいきませんが、その地域に住む人たちにとって必要なものがそこで生産され、流通していくということとであります。

次に「健康な地域」というのは、まず、多様な産業があつて、それが有機的に組み合わされている地域です。多様な産業がありますと、そこに住む人々にとりましてはさまざまな選択肢があることになり、多様な生活のあり方、自分らしい生き方が

実現できることとなります。

第2点目として、優れた、良好な自然環境というものがあつて、当然、生活環境もよりよく整備されているということが大事です。

第3点目として、住民自治がしっかりとおり、地域コミュニティがしっかりと実現している地域です。「健康な地域」は、そこに住む人たちの生活満足度がとても高い地域になります。こういう都市をこの県央合併を通じて、実現していきたいと考えています。

「2市4町の思いを大事に合併を進めることが重要」

市報、ホームページ、テレビなどで情報を提供していきます

市民アンケートやリレーミーティングでは、「合併のメリット、デメリット」「合併後のまちづくり」等についてもっと情報提供をしてほしいという声を多く頂いています。(3ページ・グラフ6)

市町村合併に向けた動向を含め、市報、ホームページなどで積極的に情報を提供していきます。また、「市長への合併提言ファックス ☎0120-96-0024」や「Eメール kikaku@city.yamaguchi.yamaguchi.jp」でも、市町村合併に関する疑問、不安についてお答えしていきます。

●ホームページをリニューアル 市町村合併に関すること、市民アンケート、リレーミーティングの結果などを掲載しています。

<http://www.city.yamaguchi.yamaguchi.jp>

●広報番組を放送 ケーブルテレビ12チャンネルで、のんた情報特別番組『「活力あふれる県都山口」へ向け・21世紀のまちづくり市町村合併』を放送します。12月2日(月)～15日(日)午後7時10～40分



さて、これまでそれぞれの市、町であつたのが一つになつていくということは、2市4町の心が一つになるということでもあります。それぞれの市・町の思いを大事にしていくことが、合併を実現していくためにはとても重要なことだと思っています。これまで、こういう市を、こういう町をつくりたいと取り組んできたことを尊重し、それらを活かして、一つの地域としてパワーアップできるような合併を実現しなければなりません。ぜひ、市民のみなさんとも立派な県央中核都市を実現していきたいと考えています。

平成14年度山口市表彰、 秋の叙勲が贈られる

◆平成14年度山口市表彰

平成14年度山口市表彰式が11月21日に行われました。今年度は、16人1団体の功績をたたえ、合志市長から表彰状と感謝状が贈られました。

受賞された方々は次のとおりです。()内は、年齢・住所・功績です。(敬称略)

●自治功労者

川本勝次郎(61 吉敷 市協力委員10年)

笠原正松(79 中央三丁目 新道

町内会会長20年)

(故)高橋大三(享年73 三の宮二丁目 上金古曾町内会会長20年)

河村敦子(66 宮野下 市統計調査員22年)

徳田マスエ(65 秋穂二島 市統計調査員24年)

西村篤弘(77 鑄銭司 市農業委員会委員18年)

●社会教育事業功労者

松永君子(66 名田島 名田島婦人会会長11年)

●保健衛生事業功労者

浦田武祐(84 阿知須町 興進小学校および佐山小学校の学校薬剤師26年)

吉村信行(53 嘉川 嘉川小学校および川西中学校の学校薬剤師26年)

櫛部慶子(65 吉敷 市母子保健推進員15年)

●体育事業功労者

野村武人(70 鑄銭司 鑄銭司地区体育委員会委員長21年、引き続き鑄銭司社会体育振興会会長6年)

●産業功労者

田原正美(71 大内御堀 山口市観光協会会長3年、引き続き山口市観光コンベンション協会理事長6年)

小野正廣(80 下小鯖 山口市小鯖土地改良区理事長20年)

●優良団体

山口ライオンズクラブ(湯田温泉四丁目 20年間にわたり、市民プールの清掃に取り組み、市民奉仕活動の促進に尽力)

●寄附功労者

竹田巖(60 東京都 中原中也記念館収蔵および展示資料として中原中也直筆書簡等を寄贈)
中村周二(53 千葉県 中原中也記念館収蔵および展示資料として中原中也直筆「療養日誌」を寄贈)
高橋敦子(68 三の宮三丁目 亡夫 大三氏の御意志のもと山口市の発展の一助として多額の金品を寄附)

◆平成14年秋の叙勲◆

市内在住の15人の方々が叙勲を受章されました。()内は、章・功績・年齢・住所・主要経歴です。(敬称略)

鈴木重靖(勲三等旭日中綬章 教育研究功労 77 大内矢田 元山口大学経済学部長)

石田裕(勲三等瑞宝章 教育研究功労 78 朝田 山口大学名誉教授)

阿部秀雄(勲四等旭日小綬章 裁判所事務功労 70 大内矢田 元広島家庭裁判所少年首席書記官)

小泉智謙(勲四等旭日小綬章 法務行政事務功労 76 宮野下 元愛知少年院長)

山口恵比古(勲四等旭日小綬章 地方自治功労 71 中園町 元山口県商工労働部長)

水津忠良(勲四等瑞宝章 警察功労 76 黒川 元警視長)

田中利典(勲四等瑞宝章 地方自治功労 71 吉敷 元山口県出納局長)

横道素臣(勲四等瑞宝章 地方自治功労 71 吉田 元山口県企業局長)

池部豊(勲五等瑞宝章 金融業功労 70 中央二丁目 現山口信用金庫理事長)

高田一平(勲五等瑞宝章 スポーツ振興功労 73 後河原 現山口県野球連盟理事長)

竹内勲(勲五等瑞宝章 農業振興功労 78 名田島 元山口県農業共済組合連合会副会長)

吉屋一夫(勲五等瑞宝章 警察功労 78 今井町 元警視正)

川上喬幸(勲六等単光旭日章 矯正業務功労 70 朝田 元山口刑務所看守長)

吉房末廣(勲六等単光旭日章 矯正業務功労 70 泉都町 元法務教官)

山根巖(勲六等瑞宝章 矯正業務功労 73 幸町 元山口刑務所副看守長)

みんなで支える 思いやりのこころ



しらさぎ会館で行われているデイサービス事業（健康体操）

私たちが暮らす社会の中で、障害のある人は、さまざまな困難や不安を抱えて生活しています。だれもが安心して暮らしやすい社会になるよう、私たちはお互いに支え合い、思いやるこころを育てていかなければなりません。

12月3日～9日は「障害者週間」です。ともに暮らす社会の中において障害のある人との関わりについて考えてみましょう。

障害のある人が暮らす社会を理解しましょう

私たちの生活は家庭、地域、学校、職場など、人と人の共同・助け合いのもとに成り立っています。少子高齢化による高齢者福祉の重要性と共に、障害のある人にとっても暮らしやすく、安心できる社会となるよう、地域で支え合い、助け合う思いやりのこころを育てていかなければなりません。

そのためには、まず私たちが障害のある人への理解を深めることが大切です。程度の違いはあれ、障害のある人は日常の中でいろいろな困難や不安を抱えて生活しています。そこで、障害のある人の暮らす社会にどのような障壁があるのか、暮らしやすい社会とはどのようなものかなど、だれもが障害と無縁ではないことを認識し、身近なこととして受け止める必要があります。

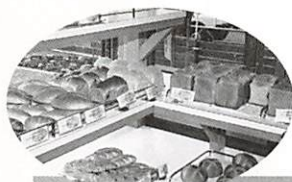
心のバリアが社会参加の妨げになることも

最近では市民レベルで福祉活動が活発に行われており、バリアフリーの意識も浸透するなど、障害のある人を取り巻く環境は少しずつ変化しています。また、社会参加も進んでおり、就業、スポーツ、趣味、ボランティア活動など、さまざまな分野に広がっています。

しかし、私たち一人ひとりの意識はどうでしょうか。障害のある人に対して特別の目で見たりしていないでしょうか。山口市小鯖にある通所授産施設「鳴滝園」の岡山久代園長は「差別、偏見といった心のバリアは今でもあるように感じます。障害者にとってみれば、そう思った思いや態度が、日常生活または社会参加の妨げとなっていることもあります」といいます。

障害のある人もみんながんばっていることを分かってほしい

鳴滝園では軽度から重度の知的障害者30人が通所し、自活を目指したさまざまな訓練を行っています。また、今年の3月にはパン・ケーキの製造・販売店舗としてスワンベーカーリーをオープンさせ、製造技術を学んだ職員と施設利用



▼小鯖262号沿いにあるスワンベーカー
パンの値段はほぼ100円



作業に励むみなさん▶

者が一緒になってお店を切り盛りします。彼らの仕事は主にトレイや器具の洗浄とパンの包装です。現実の社会はまだまだ彼らにとって辛いことも多く、就業しにくいのが現状ということですが、「もともと働く意思と責任感の強い子たちですから、ここではみんないきいきと仕事をしています」と岡山園長。お客さんと顔を合わせて、『おいしかったよ』とか『おすすめは』などと言われると、みなさん嬉しそうに、お客さんに説明するなど、一生懸命がんばっているそうです。「普通のひとと一緒に、人の役に立つ、認めてもらうことにやりがいを感じて、彼らもすごく自信をつけているようです。障害者も社会で同等に生活しようとみんながんばっていることをみなさんに分かってほしいと思います。能

力的に健常者と同じ仕事はできないかもしれませんが、少し時間をかけて見守ってもらえるとありがたいです」と岡山園長は話します。

コミュニケーションが互いの理解と助け合いを生む

障害のある人にとって暮らす社会がどのようなものか、隅田さん夫妻にお話を聞いてみました。隅田さん夫妻は聴覚障害を持ち、夫の弘美さんは先天性難聴、妻の貴子さんは1歳3カ月の時、右手親指が動かなくなり、全身麻痺で手術を行った際に耳が聞こえなくなりました。(以下は、手話通訳士の柴田すみ子さんにご協力をいただきました、構成しています)

◆大変だったことって何ですか

弘美さん 私は聾学校ではなく一般の学校で高校生まで過ごしました。先生や友達の言っていることがうまく伝わらず、コミュニケーションが十分取れなかったことです。**貴子さん** 私は聾学校に通いました。当時は口話が主で、手話のできる先生も2人程度、授業も口話で聞き取れないといけなかったのが大変でした。

※口話：口の動きで言葉を読みとること

◆学校生活はいかがでしたか

お二人 周りの理解とサポートも



隅田貴子さん、弘美さん夫妻

あり、とても楽しく過ごすことができました。

◆現在のお仕事は

弘美さん 今は県の聴覚障害者情報センターに勤務しており、主に聴覚障害用にテレビ番組などの字幕制作をして貸し出しするビデオライブラリー等の仕事をしています。以前は印刷会社に勤務しましたが、やはり周りの理解と協力が必要で、コミュニケーションが一番大切だと思いました。

貴子さん 私は主婦ですが、3年ほど前から地区の方の依頼で集会や学校などで手話の講師をしています。普段は地区の行事に参加したり、みんなに手話を教えてあげたり、とても楽しんでいます。

◆ご夫婦で協力されていることって何でしょう

弘美さん 少しずつですが彼女から手話を習っていますし、彼女は

文章や漢字が苦手なので私が教えてあげたりしています。

◆日常生活で困ることは

貴子さん やはり、耳が聞こえないので情報が入らないことです。知らない人が家にきたとき、相手に耳が聞こえないことを理解してもらおうのが大変です。中には逃げてしまふ人もいますので……。

弘美さん あと、聴覚障害者は見ただけではわからないので、声をかけても無視されたと思われることもあります。まずは聞こえないとすることを理解してほしいです。理解するのに少し時間はかかるかもしれませんが、ジェスチャーでもいいからコミュニケーションが取ればと思っています。

◆みなさんに伝えたいことはありますか

弘美さん 普通に接してくれることがうれしい。そのほうがお互いに気持ち良くなると思います。

貴子さん 広い意味で障害者に対する理解は十分とはいえませんが、コミュニケーションによって互いに理解し、助け合っていけるといいと思います。特に台風や火事など、緊急時には警報などが聞こえないので、みなさんの協力がが必要です。それだけでも分かってもらえたらと思います。

高齢者の方、高齢者を介護する家族の総合相談窓口

山口市在宅介護支援センター

現在、市では、市内7カ所に「山口市在宅介護支援センター」を設置しています。ここでは、在宅生活での困りごとや心配事、介護など、高齢者やその家族の相談に応じています。また、市の各種福祉サービスに関する手続きの代行も行っています。身近な相談窓口として、気軽に利用してください。

お近くの在宅介護支援センターをご利用ください

在宅介護支援センターでは、市民のみなさんが市役所にわざわざ足を運ばなくても、在宅介護の相談や福祉サービスの手続きができるようになっていきます。

【山口市在宅介護支援センターの紹介】

済生会山口地域ケアセンター	朝倉町4-55-6	924-6614
アーユス	大内矢田371	927-8315
ハートホーム	宮野下2997-5	934-5600
よしき悠々苑	吉敷1395	932-0231
山口あかり園	黒川3363	921-1619
日吉台	陶3968	083-973-7272
梅光苑	鑄銭司2361-3	986-3765



センターの相談窓口（平川あかり園）
専門の相談員が24時間体制で相談を受け付けています

●在宅生活の悩みや困りごとなど何でもご相談ください。

高齢者が在宅生活する上で抱えている不安や困りごと、介護に関すること、福祉サービス利用などの相談に応じます。

相談のあった高齢者の方が在宅で自立した生活が維持できるよう、介護保険サービスの該当にならない方を中心に、生活支援のための

プランを作成し、必要な保健・福祉サービスを提案していきます。

また、高齢者が一人でお風呂に入るのが不安であったり、日常生活に不安が生じた場合など、訪問や電話での相談も受け付け、適切なアドバイスをしています。

※相談費用は一切かかりません

●福祉サービス手続きの代行も行います

市の行う高齢者在宅福祉サービスなどの手続き代行や、サービス利用について、サービス提供事業所との連絡調整を行います。

現在、市で行っている高齢者在宅福祉サービスは次のとおりです。

生きがい対応型デイサービス／生活支援訪問サービス／生活支援宿泊サービス／日常生活用具の給付／生活支援型給食サービス／緊急通報装置の設置／寝具洗濯乾燥サービス／訪問理美容サービス／訪問歯科診療／家族介護用品の支給／家族介護者ヘルパー受講支援

●転倒予防教室などいろいろな教室を開いています

7つのセンターでは、転倒予防教室、痴呆予防・介護教室、IA



転倒予防教室の様子。各センターが公民館、公会堂に出向き、教室を開催します。

DL（手段的日常生活動作）訓練教室、家族介護予防教室を定期的に開催しています。

●在宅介護機器の展示

おむつ、ねまきなど日常生活の各種サポート商品や歩行器、簡易トイレなどの在宅福祉用具の展示をしています。（試用もできます）機器などの紹介により、高齢者の方が在宅での生活が継続できるようにアドバイス・サポートを行っています。



福祉用具の展示コーナー

【問い合わせ】

市高齢障害課（☎934-2758）または各在宅介護支援センター（上表）

山口市議会臨時会

助役 収入役選任される

平成14年第5回山口市議会臨時会が10月25日に開催されました。この議会では、助役に渡辺純忠氏を選任し、収入役に関勝治氏を選任する議案が可決されました。また、平成13年度山口市一般会計及び平成13年度山口市国民健康保険特別会計ほか九つの特別会計の決算について議会の認定を求める議案が提出されました。

人事異動（11月1日付）

助役と収入役の選任について議会の同意を得たことに伴い、11月1日付で人事異動を行いました。



助 役
渡辺純忠



収入役
関 勝治

【部長級】

総務部部長 同格／山口県中部環境施設組合へ派遣（市民部長） 福永 静▽企画財政部中核都市推進担当理事（企画財政部次長（併）山口・防府地区広域事務組合事務局長） 重見 武男▽市民部長（健康福祉部理事（兼）健康福祉部次長（兼）福祉事務所次長） 河崎 重利▽健康福祉部部長（兼）福祉事務所長（教育次長） 鈴木 健二▽都市整備部部長（健康福祉部部長（兼）福祉事務所長） 児玉 顕彦▽教育次長（総務部部長 同格／山口県中部環境施設組合へ派遣） 杉山 眞士

【部次長級】

総務部次長（兼）総務課長（総務部次長） 松原 信政▽総務部課長（総務部総務課長） 渡辺 紀明▽企画財政部次長（併）山口・防府地区広域事務組合事務局長（総務部課税課長） 山本 徹▽健康福祉部次長（兼）福祉事務所次長（兼）社会課長（健康福祉部社会課長） 原田 二郎

【課長級】

吉敷公民館長（併）吉敷出張所長（吉敷出張所長） 山田 洋子

市税 Q&A

固定資産税

あれこれ

Q1 今年中に土地を売却する予定ですが、来年度の固定資産税は誰に課税されるのですか。

A1 固定資産税の賦課期日は1月1日です。したがって、本年中に所有権移転登記が完了すれば新しい所有者に課税されます。しかし、1月1日を過ぎてしまうと、引き続き現在の所有者に課税されます。

Q2 今年死亡した父名義の土地や家屋がありますが、来年の固定資産税の課税はどうなりますか。

A2 年内に相続登記の手続きが完了すれば、新しい所有者に課税されます。そうでない場合は、相続人の中から亡くなられた人によって固定資産税を納めていただく納税義務代表者を届け出ていただきます。なお、今年度の税金については、亡くなられた人に送付している納付書で納付してください。

◆問い合わせ 市課税課家屋担当（☎934-2737）
土地担当（☎934-2737）

12月の放送です

山口のんた情報 （山口ケーブルテレビ）

午前7時50分（水・土）、午後零時20分（火・金）、午後6時25分（月・木・日）、午後10時30分（水・土）から20分間放送。

- 1日～15日 「みんなで食べよう地元農産物」
- 16日～31日 「後世に残したい伝統 山口鷺流狂言」

わたしたちのまち山口（テレビ山口）

毎週日曜日、午前11時40分から放送。

- 1・8日 「国民年金について」
- 15・22日 「特産品ショップ やまぐちさん」

やまぐちしま専科（山口朝日放送）

毎週水曜日、午後1時55分から4分間放送。

- 4日 「山口鷺流狂言」
- 11日 「パパも実践？マタニティ講座」
- 18日 「しめなわづくりで世代間交流」
- 25日 「栗林和彦の市内日の出スポット」

快適ですみよい都市 やまぐちに向け

山口市環境基本計画進行状況

問い合わせ 環境保全課 ☎ 934-2775

市では、平成13年に環境基本計画を策定し、①山口の環境を構成する空気、水、土、緑を守る
②恵み豊かな自然を活かし、安らぎのある快適な都市環境をつくる③限りある資源を上手に使い、
持続可能な循環型社会をつくる④山口らしい環境づくりに向けて、みんなが自主的に取り組むを
基本方針として、ホタル飛び交う快適ですみよい都市「やまぐち」を目指しています。今回は、
この基本計画に基づく取り組みの進行状況を紹介します。

山口の環境を構成する空気、水、土、緑を守る

山口の環境を守るため、大気環境、水環境、土壌環境の保全を行い、緑の保全を図ってきました。

空気を守る

大気環境の保全は、市民全体で取り組むため、自動車の無用なアイドリングを防止する意識啓発を行いました。あわせて、市では、公用車にハイブリッド車を2台購入するとともに、ごみ収集車4台に排ガス対策装置を装着することで、自動車の排気ガスから空気を守る取り組みを進めました。

*ハイブリッド車 燃料エンジンと電気モーターが搭載され、燃料の消費量が少なくなる車

水を守る

水環境では、森林や農地の保全事業を実施するとともに、河川の整備にあたっては、地下水と河川水の循環に配慮した工法を採用しました。また、水質を保全するために、公共下水道、農業集落排水事業、漁業集落排水事業の推進を行うとともに、合併処理浄化槽の設置に対する補助を行うことにより、生活排水対策を進めてきました。

土を守る

土壌環境では、減農薬、減化学肥料農業、有機栽培農業を促進し

てきました。そのために、有機農業を目指す協議会への補助を行うとともに、生ごみ資源化モデルシステムの構築のために関係団体と協議を行ってきました。

緑を確保する

緑地の確保は、計画的で連続性のある緑を保全するための指針と

恵み豊かな自然を活かし

安らぎのある快適な都市環境をつくる

人と自然との共生

地理的特性に応じて、生き物の生息地を確保するよう、森林に実のなる木の植林を進める育成天然林改良事業を実施しました。



市民手作りの森設置事業

して、「山口市緑の基本計画」を策定しました。今後は、この計画により緑地を確保していきます。森林を守るために、森林管理施策を進めてきましたが、市民活動を促すものとして、市民自らが行う憩いの場づくりや景観づくりに補助する「市民手作りの森設置事業」を創設し、平川地区で事業が実施されました。

天然記念物に指定されている山口ゲンジボタル発生地については、保存管理計画の策定を進めるとともに、飼育員の確保や関係団体への補助を行うことにより保護増殖

活動を推進しました。

野生動物については、農作物への被害防止のため、防護柵の設置に対する補助を行うとともに、猿に発信機を取り付け、出没と駆除のための調査を行い、人と自然の共生を目指しました。



ゲンジボタルの放流（宮野涼橋）

もに、緑の生活通り推進事業による生け垣設置への補助などを行いました。

都市景観の保全については、山口市都市景観条例に基づき、都市景観形成地区内における修景工事等に対し助成を行いました。また、大規模建築物の建設に対する指導や、公共施設の整備に際して、周辺景観への配慮を行いました。

まちの美化については、条例に基づき空き地の適正管理に対する指導と勧告を行いました。また、空き缶ゼロの日や榎野川水系クリーンキャンペーンなどのイベントを通して意識の啓発を行い、快適な都市環境の創出に努めてきました。

限りある資源を上手に使い

持続可能な循環型社会をつくる

廃棄物の発生を抑制

市民とともにリサイクルを推進するため、ごみ・資源収集カレンダーを配布し、分別収集の徹底を行いました。また、事業者には、最終処分場への不燃物の適正搬入を徹底するため、事前登録制度の導入を行いました。さらに、一般家庭に生ごみ処理機購入へ補助金を交付するとともに、事業所から出る生ごみの資源化モデルについて研究を行いました。

大規模事業所には、市廃棄物の処理及び清掃に関する条例により、廃棄物の減量及び適正処理を促進

するために計画書を提出させ廃棄物発生の抑制に取り組みました。

エネルギーの有効利用

市では、電気やガソリンなどの消費量を削減することで、温室効果ガス（二酸化炭素など）の排出量を抑制するため山口市地球温暖化防止行動計画を策定し、省エネルギーや低燃料車の導入、ノーマイカーデーを実施しました。また、山口市グリーン購入ガイドを作成し「再生品」や「省エネルギー製品」の購入によりエネルギーと資源の有効利用に努めました。

山口らしい環境づくりに向けて

自主的な取り組み

環境に対する意識の向上

環境学習を進めるために、市民大学講座に立松和平氏を招き、環境をテーマに講演会を開催。民間・大学・行政が連携して設置した「山口まちなか大学」では、ゴミ問題に関する講座を行いました。また、積極的な情報提供を進め

ていくために、環境意識を啓発する冊子「環境についてかんがえる」を創刊し、市内全世帯に配布しました。あわせて、山口市のホームページに、環境基本計画や環境概要を掲載することで、環境に対する市民意識の向上に取り組みました。

快適な都市環境の創出

「山口市緑の基本計画」を策定し、公園や緑地の整備を行うこと



榎野川水系クリーンキャンペーン

山口市

今年の主な出来事

2002

▼第1回山口市障害者福祉計画
策定懇話会（4日）

7月

▼見直し市民委員会が提言書を
市長に提出（23日）▼山口情報
芸術センター（中園文化施設）
工事一時中止解除の通知（23日）

8月

▼住民基本台帳ネットワークシ
ステム稼働（5日）▼湯田温泉
駅ホームの壁画完成式典（19日）
▼第1回県央部合併調査研究会
（26日）▼第1回山口市市民活
動推進支援評議会（27日）▼
C・S赤れんが10周年記念市民
企画「赤れんがまつり」（28日）
▼山口情報芸術センター基
本計画決定

10月

のえき」オープン（1日）▼山
口市地域福祉計画策定委員会
（5日）▼コミュニティバス大
内ルートの一部に、公共車両優
先システム（PTPS）導入
（17日）▼「まちづくりリレー
ミーティング／対話」が仁保地
区で始まる（30日）

10月

▼山口市市民活動支援センター
さばらんで入館者1万人達成
（17日）▼陶高齢者生きがいセ
ンター「陶いきがいセンター」
落成式（29日）▼山口市観光開
発整備対策審議会が市長に答申
（31日）

11月

▼山口市産業振興ビジョン策定
協議会がビジョン報告書を市に
提出（6日）

9月

▼米屋町商店街に地域交流の拠
点「ふるさと やまぐち まち

6月

▼中国明販（株）山口テクノ第
2団地へ進出、調印式（3日）

5月

市長当選（21日）▼第1回山口
市住居表示審議会（30日）

5月

▼大内高齢者生きがいセンター
「大内の館」落成式（8日）▼
佐内正治前市長退任式（10日）
▼山口情報芸術センター（中園
文化施設）建設工事中断（14日）
▼鴻南中学校屋内運動場竣工記
念式典（25日）▼第1回山口市
史「史料編」編さん委員会（25
日）

3月

▼山口情報芸術センター定礎式
（20日）▼山口市県央中核都市
建設推進議員連盟設立総会（29
日）▼文化振興ビジョン策定▼
山口市緑の基本計画策定

4月

▼第23代山口市長に合志栄一新



▼合志市長初登庁および就任式
（5月13日）



▼第1回山口情報芸術センター
（中園文化施設）見直し市民委
員会（6月8日）



▼白石小学校講堂解体記念式典
（7月14日）



▼中原中也記念館、入館35万人
達成（9月18日）



山口市リサイクルプラザ

☎ 927-7122 ㊟ 927-7133

<http://www.c-able.ne.jp/ymgplaza/>

開館時間 午前9時から午後5時
資源ごみの受け付け

午前9時から午後4時30分
月曜と祝休日の翌日はお休みです

エコクッキング その2

台所から、省エネを実践



予想以上の速さで進んでいる「地球温暖化」にストップをかけるためには、一人ひとりが問題意識を持ち、これまでのライフスタイルを見直すことが大切です。家庭の省エネを考えると食生活にかかるエネルギーの使用も見逃すことはできません。たくさんのエネルギーを消費しているところから省エネを考えていくことが効果的です。今回は、エネルギーの少ない調理法について考えてみました。

■果菜（カボチャ、ブロッコリー）の場合

100グラムの食材を、1リットルの水（27度程度）に入れ沸騰させる場合（ガスのみ使用）と、電子レンジで下ごしらえした場合（電子レンジとガスの併用）を比べてみました。

ガスは年間で9.10m³の省エネに！（24.92L/回） → 約1280円

電気は年間で15.13kWhかかります！（41.46Wh/回） → 約300円

年間削減額 → 約930円の節約

原油量換算 6.15L CO₂削減量 4.00kg

※光熱費の単価（ガス 140.6円/m³、電気 23円/kWh）

（財）省エネルギーセンター「家庭の省エネ大事典」より

直しやホット
冷凍した
ご飯の温め
は？
● 温め機能

す。間の大幅節
レンジへ。
ガス代と時
後、電子
たいときは、
焦げ目をき
れいにつけ
た後、電子
レンジへ。
ガス代と時
間の大幅節
約になりま
す。

電子レンジを上手く利用して省エネ！
電子レンジで「チン！」することでも手間もエネルギーも省けることを知っていますか。電子レンジは、電磁波により、食品の中から熱を持たせ食品を加熱します。ほとんどの場合、温め直し程度にしか使用されていないことが多いようです。実は、有効活用により、調理に使用するエネルギーをカットできる優れたモノなんです。

● 調理のときは？
野菜の下ごしらえに、肉料理の仕上げに利用できます。煮込み料理の野菜は、チンしてから鍋へ。煮崩れも少なくすすみます。肉料理などで中までしつかり火を通したいときは、焦げ目をきれいにつけた後、電子レンジへ。ガス代と時間の大幅節約になります。

量や素材によって道具を使い分けることが大切です。出来ること、気づいたことから実践しましょう。（企画 やまぐちエコ倶楽部）

電気ポット、つけっぱなしが大きな無駄に！
これからの季節手放せないのが電気ポット。この使い方も少し工夫してみよう。日本茶を飲むことが多いならば、普段から低めの温度で保温しましょう。長時間使わないときは、再沸騰させる方が省エネになります。また、サイズが大きいほど消費電力は大きくなります。

美味しいおやつに变身

残りご飯の揚げ団子

【材料】残りご飯200グラム、小麦粉 大さじ5、塩 少々、タレ（砂糖 大さじ5、醤油 大さじ3、酒 小さじ1、みりん 小さじ1、片栗粉 大さじ2）

【作り方】

- ①残りご飯は軽く水洗いし、ざるにあげて水気をきる
- ②ボウルに洗ったご飯と小麦粉が均一になるようにまぜ、ピンポン玉くらいの大きさに丸める
- ③フライパンに油を薄くひいて②を入れ中火で2～3分焼く
- ④タレを作り、焼きたての③にからめる



■12月のリサイクルアイデア講座（午前10時～正午）

《いつでも参加できます。申し込みはいりません》

和服のリフォーム	3 (火) 10 (火)	モラの手法を使った小物作り	10 (火)
パッチワーク（初級）	4 (水) 21 (土)	パッチワーク（中級）	11 (水) 18 (水)
トールペインティング	4 (水) 11 (水)	ネクタイでベスト、小物作り	13 (金)
押花で年賀状作り	5 (木)	折り紙で作る正月飾り	14 (土)
さき織り	5 (木) 12 (木) 19 (木)	布遊び	14 (土) 21 (土)
洋服のリフォーム	5 (木) 12 (木)	しめ縄作り	23 (月・祝)
余り布でつくるコサージュ	6 (金)	※トールペインティング、パッチワーク（中級）	
毛糸のリサイクル	6 (金) 20 (金)	しめ縄作り、午前9時30分～正午	
フラワーアレンジメント	7 (土) 21 (土)	※パッチワーク（初級）21日 (土) 午後1時～3時	

※持参するものなど詳細は、リサイクルプラザ、市役所、公民館にある「かわらばん」をご覧ください。

■12月のフリーマーケット

◇日時 12月8日（日）（午前9時～午後3時）

※おもちゃの病院もあります。（受付は午前10時～11時30分）

※同時開催 オープン講座「花炭」作り（持参するもの おかき缶など大きめの空き缶、参加費300円）

※次のフリーマーケットは、3月9日（日）。出店の申し込みは、2月15日（土）からリサイクルプラザで受け付けます。

お知らせ

水道管の冬支度はお済みですか

寒さが厳しくなり、気温が氷点下になると、水道管や蛇口の中の水が凍り、器具が破損したり、ひび割れが生じます。露出した水道管や蛇口に発砲スチロールなどのカバーをして、凍結防止に努めましょう。

注意！凍結した水道管や蛇口に熱湯をかけると、破損することがあります。破損したときは、元栓（止水栓、内バルブ）を締めて、市水道局または市水道局指定工事業者にご連絡ください。

◇問い合わせ 市水道局（☎933-6670）

年末年始の交通安全県民運動

平成14年12月10日（火）
～平成15年1月3日（金）

重点目標

- 夜間（特に薄暮時）の交通事故防止！
- 無謀運転（飲酒、信号無視、速度超過等）の防止！
- シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底！

山口都市計画下水道の変更等の説明会（第2回）

市では今年度、下水道の区域に次の地域を加え、区域の変更（拡大）を行う予定です。

この説明会は、第1回目（11月下旬開催）と同じ内容を説明するとともに、変更案の内容等について意見をうかがうものです。

- ◇変更地域 吉敷（赤田、佐畑、中尾西、緑ヶ丘）宮野（七尾台、上桜畠、住吉、青葉台）大内（水上）平川（田屋島）大殿（天花）嘉川・佐山地区の一部
- ◇説明会期日・場所 左表
- ◇時間 午後7時から
- ◇問い合わせ 市下水道建設課（☎934-2782）

会場	期 日	場 所
佐山	12月18日（水）	佐山公民館
嘉川	12月19日（木）	嘉川公民館
市役所	12月20日（金）	第10会議室

ブラッシュアップ講座
すてきな女性になろう

- ◇日時 12月15日（日）午前9時～午後3時
- ◇場所 市働く婦人の家
- ◇定員 20人（先着順）

海外たすけあい義援金

海外の恵まれない人々に援助の手を差しのべる「NHK海外たすけあい」を12月1日（日）から25日（水）の間実施します。

集められた義援金は、世界中で多発する自然災害や紛争等による犠牲者の緊急救援および発展途上国赤十字社の行う保健衛生、災害対策事業等の開発協力に役立てられます。

義援金受付窓口は、郵便局、取扱表示のある金融機関、農協、漁協、NHK（中央五丁目14-22）、日本赤十字社山口県支部・血液センター（野田172-5）、山口赤十字病院（八幡馬場53-1）です。

◇問い合わせ 日本赤十字社山口県支部（☎922-0102）

「日本のクリスマスは山口から」
冬のイルミネーション2002

日本で初めてのクリスマスミサが行われたと言われている山口市。一の坂川周辺をクリスマスイルミネーションで飾ります。

- ◇日時 12月7日（土）午後3時～7時 ※イルミネーションは25日（午後5時～午前零時）まで
- ◇場所 C・S赤レンガ前庭（中河原町5-12）
- ◇内容 点灯式、アコースティックライブ、空き缶で作る手作り

第31回山口大学・山口県
オリエンテーリング大会

- ◇期日 平成15年1月5日（日）（雨天決行）
- ◇会場 維新百年記念公園
- ◇クラス 個人クラス：男子クラス・女子クラス（それぞれ最上級、上級、中級、初級）／グループクラス：2～5人で構成※性別年齢は問いません
- ◇参加費 個人クラス：2000円（当日申し込み2000円増）／グループクラス：各グループ5000円
- ◇申し込み締め切り 12月15日（日）※詳細についてはお問い合わせください。
- ◇問い合わせ 葛城さん（☎90-1518-5034）

第10回 全国中学校駅伝大会

第8・9回と山口市で行われてきたこの大会も今回で最後の山口市開催になります。全国レベルの中学生の走りを観戦しませんか。

◇日時 12月23日（月・祝）

●女子の部…午前10時スタート

●男子の部…午前11時15分スタート

◇コース 県セミナーパーク・クロスカントリーコース（秋穂二島）

◇問い合わせ 実行委員会事務局（白石中学校内 ☎924-8997）

◇場所 C・S赤れんが（中河原町5-12）

◇申し込み はがき、FAXまたはEメール（〒住所、氏名・ふりがな、年齢を記入）で市文化振興課「アーティスト・レクチャー・井手茂太」係（〒753-8650 亀山町2-1 ☎928-5165 FAX 932-1185 2 Eメール lec@ycam.jp）へ

アーティスト・レクチャー
振付家・ダンサー 井手茂太

ダンス・カンパニー「イデビアン・クルー」の主宰者で、国内外の演劇公演の振り付けなど幅広い活動をしている井手茂太さんを招いて講演会を開催します。

◇日時 12月11日（水）午後7時から



第54回山口市駅伝競走大会

◇期日 平成15年1月19日（日）

◇時間 午前8時50分開会式

午前10時30分山口南総合センタースタート



◇部門 体協の部（近隣市町体育協会選抜チーム、地区体育協会選抜チーム）、一般1部（昨年上位15チーム）、一般2部、女子の部

◇チーム編成 監督1人、選手7人、補員3人以内（監督と選手の兼任可）

◇参加資格 中学生以上で市内または小郡町に在住・在勤・在学いずれかの者

◇参加料 1チーム5,000円

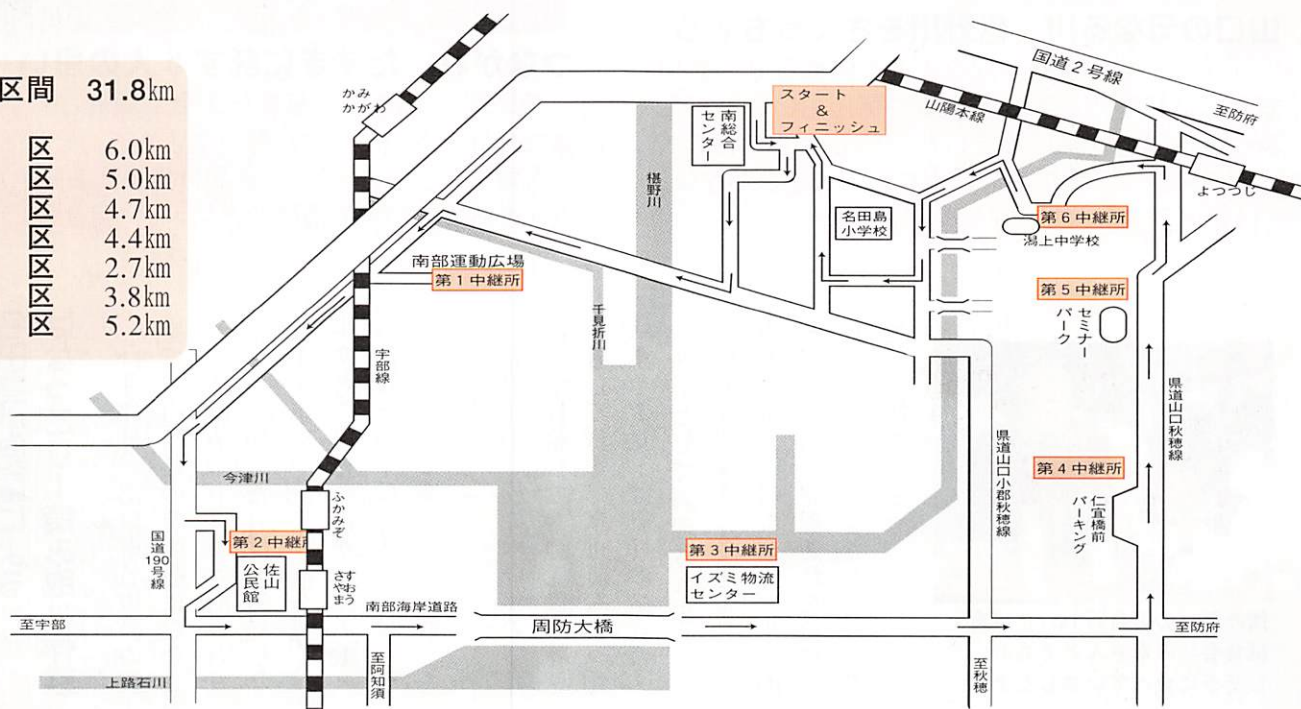
◇申し込み 平成15年1月8日（水）までに、所定の申込書に参加料を添えて、直接、市体育課（市役所3階 ☎934-2874）へ

※申込書は、市体育課または市内各公民館、山口南総合センター、やまぐちリフレッシュパーク、小郡町教育委員会にあります。

※平成15年1月15日（水）午後3時から、市役所3階第10・11会議室で監督者会議を開催します。

全区間 31.8km

1	区	6.0km
2	区	5.0km
3	区	4.7km
4	区	4.4km
5	区	2.7km
6	区	3.8km
7	区	5.2km





やまぐちさん できました！

11月1日、道場門前商店街に山口県産のものを扱う物産館がお目見えしました。その名も「やまぐちさん」。さっそく多くの人でにぎわいを見せています。(11月1日)



山口の母なる川 樫野川をさぐっちゃろ

「ふしの川の自然を探る！」が開催され、参加者たちは樫野川の水源地である仁保川沿いのハイキングや散策等を楽しみました。その後は、石にペインティング。さてさてどんなものができたかな。(11月2日)



摘み取りの翌日行われた給食試食会。みなさんとてもおいしそうに食べていましたよ。

給食では、保護者や地元農家の方も児童と一緒にテーブルを囲み、おいしく調理された給食を食べながら、みなさんとても満ちた様子でした。

名田島小学校では今年の4月から学校給食でも地元農産物を活用しており、今回摘み取ったはなっこりーは翌日の給食のメニューとして調理されました。

生産者の河村さんから摘み取り方法などの手ほどきを受けながら、みんなで楽しく摘み取りを行いました。

11月13日、山口市名田島の農場で、山口県の特産品はなっこりーの摘み取り体験が行われました。参加したのは名田島小学校1年生から3年生の児童30人。

名田島小学校では今年の4月から学校給食でも地元農産物を活用しており、今回摘み取ったはなっこりーは翌日の給食のメニューとして調理されました。

表紙写真説明
名田島小児童による
はなっこりー摘み取り体験



息を合わせて ペったん ペったん おいしいお餅ができたかな

紅葉の深まる中、各地区のお祭りが開催されました。大殿まつりでは、地区の人に昔ながらの農機具に触れてもらおうと、台唐臼を使って餅つきを行いました。餅は無料で配られ、地区の人は、楽しくて美味しい時を満喫されたようです。(11月10日)



つながれ たすきに託す6人の思い

第53回山口市中学校駅伝大会が開催され、走者たちは一本のたすきに思いを込めて、それぞれの区間を走り抜きました。結果は男子が鴻南中A、女子が附属山口中の優勝でした。(11月9日)